

# 【能登半島最先端過疎地域イノベーション】(石川県珠洲市) ～真の大学連携が過疎地を変える～

## 課題（状況）



## 政策（補助金等）/規制

- ・「子どもの貧困・社会排除」は子どもたちの将来を奪いかねない問題
- ・部課や保健師、保育所等関係機関の情報を一元化、貧困リスクを持った世帯を早期に発見、貧困脱却を図る「あらかわシステム」をもとに具体的な取組みを実施

## 目標



生活困窮世帯やひとり親家庭、引きこもりなど支援を必要とする子どもに対し、食事の提供や学習支援、団らんの場を提供し、子どもの自立を促進する

## 地域資源/産学連携等



地域で活動する様々な団体が協力

- ・社会福祉協議会/荒川区コミュニティカレッジ（地域大学）の卒業生、保護司会、民生委員等
- ・フードバンク、地元商店街（食材の提供）

## 具体的な取組内容

### ①取組内容・スケジュール

平成21年度「子どもの貧困問題検討委員会」を設置、23年度最終報告書を公表

平成27年度以下の事業を区内2か所で実施

-18歳までの生活困窮、ひきこもりなど支援が必要な子どもに学習支援、食事の提供、子ども同士、子どもと大人の交流機会を提供。区は実施団体への活動費を補助。28年度より箇所増

### ②予算など

27年度1,500千円（28年度 4,500千円）

### ③推進・運用組織

事業運営団体に対し、区は保健所、学校、スクールソーシャルワーカーと連携、一体的に支援

## 成功要因

- ・調理や学習支援スタッフは有償ボランティアである等地域団体の支援によるコスト削減
- ・学校でも家庭でもない、「学習支援と食事支援をセット」にした第3の居場所で、学習習慣や社会生活基礎能力の向上を目指していること

## 成果

### ・平均利用者数の増加

- 平成26年度 8.9人→27年度 12.2人

・中学を卒業した子どもは、都立高校をはじめ希望校に全員進学（学力も向上）

・多世代の出会い・交流・活躍と生きがいづくりに貢献 - 料理屋のシェフや塾の講師の参加など

## 地域の変化

- ・地域の様々な団体が新たに取組みを始めようと意欲的に検討するなど、事業拡大に向けた機運が高まっている

## 残る課題

・現在2か所での事業となっているが、多くの子どもが利用できるような多拠点での展開

・早い段階から対象者を紹介・抽出できる仕組みの構築、ボランティア増員など事業の枠組みの改善

## 次の行動

- ・より多くの団体で可能となるような予算増や団体の要請等も勘案した定額補助などの導入などより運営しやすい体系への見直しを図る